

# 40th 日本死の臨床研究会年次大会

## 深めよう、広めよう、 ホスピスのこころ

北の大地  
からの  
メッセージ

「日本死の臨床研究会」は  
我が国で最も古くから終末期医療に取り組んできた団体で、  
このたび第40回の記念大会を札幌で開催することになりました。

●とき  
2016年 10月8日(土) ▶ 9日(日)

●ところ  
札幌コンベンションセンター  
北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1

●名誉大会長  
石垣 靖子 (北海道医療大学 名誉教授)

●大会長  
前野 宏 (札幌医療生活協同組合 理事長)

門脇 睦子 (訪問看護認定看護師)

●実行委員長  
小林 良裕 (勤医協中央病院 ホスピスケアセンター長)

●特別講演・市民公開講座  
倉本 聰氏 (脚本家・演出家)

●40回記念講演  
柏木 哲夫氏 (淀川キリスト教病院 理事長)

柳田 邦男氏 (ノンフィクション作家)

●海外招待講演・国際交流広場  
John Ellershaw (リバプール大学 緩和医療学講座 教授)

●対談  
谷川 俊太郎氏 (詩人)

徳永 進氏 (野の花診療所 院長)

●特別講演  
池澤 夏樹氏 (小説家)

方波見 康雄氏 (方波見医院 理事長)

國森 康弘氏 (フォトジャーナリスト)

清水 哲郎氏 (東京大学大学院人文社会系研究科 上廣死生学・応用倫理センター 特任教授)

●参加費 【事前申込】会員:7,000円/非会員:9,000円/学生:3,000円  
【当日申込】会員:8,000円/非会員:10,000円/学生:3,000円

●大会ホームページ  
<http://www.c-linkage.co.jp/jard40/>

第40回日本死の 検索

【大会事務局】  
〒004-0801  
札幌市清田区里塚1条2丁目20-1札幌南青洲病院内  
TEL: 011-883-0602  
E-mail: [jard40sapporo@gmail.com](mailto:jard40sapporo@gmail.com)  
【後援】  
北海道、札幌市、北海道医師会、札幌市医師会、  
北海道看護協会ほか

第40回日本死の臨床研究会年次大会 特別講演

市民公開講座

死と老後を考える

倉本 聰

Sou Kuramoto

2016

10月9日 日

13:00~14:20 (開場 12:30)

札幌コンベンションセンター

大ホール 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

(地下鉄東西線「東札幌」1番出口より徒歩約8分)

※駐車場の台数に限りがございます。公共交通機関をご利用ください。

入場無料

事前申込不要

お問い合わせ

札幌南青洲病院 TEL:011-883-0602

札幌市清田区里塚1条2丁目20-1

担当:梅田、森岡、中島

E-mail: jard40.sapporo@gmail.com

後援

北海道 北海道医師会

札幌市医師会 北海道看護協会ほか



# 第40回日本死の臨床研究会年次大会プログラム



会期：2016年（平成28年）10月8日（土）～10月9日（日）

会場：札幌コンベンションセンター／札幌市産業振興センター

## ◆名誉大会長講演◆

『物語られるいのち』に寄り添う」石垣靖子(北海道医療大学客員教授)

## ◆大会長講演◆

「深めよう、広めよう、ホスピスのこころ」前野 宏(札幌医療生活協同組合 理事長)  
門脇睦子(訪問看護認定看護師)

## ◆40回記念講演◆

1. 「死にざまこそ人生～死生学から生死学へ～」 柏木哲夫(淀川キリスト教病院理事長)
2. 「死の臨床の進展と日本人の死生観の変化～戦後70年の精神史に刻んだもの～」 柳田邦男(ノンフィクション作家・評論家)

## ◆対 談◆

「死と詩をつなぐ」谷川俊太郎(詩人)/徳永 進(野の花診療所院長)

## ◆市民公開講座（特別講演）◆

「死と老後を考える」倉本 聰(脚本家)

## ◆特別講演◆

- |                                  |                  |
|----------------------------------|------------------|
| 1. 「準備のない死をどう受け入れるか」             | 池澤夏樹(小説家・詩人)     |
| 2. 「いのちをつなぐということ～ファインダー越しの看取り～」  | 國森康弘(フォトジャーナリスト) |
| 3. 「エンドオブライフ・ケアの倫理～よい人生と尊厳をめぐる～」 | 清水哲郎(東京大学大学院教授)  |
| 4. 「人はなぜ涙するのか～ケアと詩学(または音楽)のデュオ～」 | 方波見康雄(方波見医院理事長)  |

## ◆海外招聘講演◆

「死にゆく人への最良なケアのための国際共同」John E Ellershaw (Professor of Palliative Medicine University of Liverpool)

## ◆震災関連特別企画◆

「岡部健先生が遺したもの」  
鈴木聡(石巻赤十字病院)/玉井照枝(東北公済病院)/竹ノ内裕文(静岡大学大学院)/金田諦應(曹洞宗通大寺)

## ◆国際交流委企画◆

「緩和ケアについて学生に何をどのように教育するか」

John E Ellershaw (Professor of Palliative Medicine University of Liverpool)

## ◆企画委員会主催企画◆

「真の援助者を目指して～援助者の自己肯定感～」小澤竹俊(めぐみ在宅クリニック) 他

## ◆40回特別シンポジウム◆

「わが国の終末期医療の将来を語る～歴代の世話人代表大集合～」 柏木哲夫(淀川キリスト教病院)  
渡辺 正(東海中央病院)/末永和之(すえなが内科在宅診療所)/山崎章郎(ケアタウン小平クリニック)

## ◆シンポジウム◆

1. 「もう一度考えよう！スピリチュアルケアとは？」  
清水哲郎(東京大学大学院)/田村恵子(京都大学)/藤井理恵(淀川キリスト教病院)/岡本拓也(聖ヶ丘病院)
2. 「がん治療及び緩和ケア選択における意思決定支援」  
磯部 宏(KKR札幌医療センター)/矢野和美(東京通済病院)/勝俣範之(日本医科大学武蔵小杉病院)/向山雄人(新宿ヒロクリニック)
3. 「地域包括ケアの中でのホスピス緩和ケアの役割～地域で看取るために～」  
市原美穂(ホームホスピス宮崎)/蘆野吉和(北斗病院) 矢津 剛(矢津内科消化器科クリニック)/福德雅章(函館おしま病院)

## ◆パネルディスカッション◆

『古い』プロセスにある生と死～介護から見える最期の風景～

菊地雅洋(北海道介護福祉道場あかい花)/宮崎直人(グループホームアウル)/佐々木聖子(株式会社日本レーベン)

## ◆トークライブ◆

『おひとり様』化する死の諸相～無縁社会から有縁社会へ～

袴田俊英(曹洞宗月宗寺)/櫻井儀秀(北海道大学大学院)

## ◆教育講演◆

1. 「家族のところに届くケア」下稲葉かおり(モナシュ大学)
2. 「ことほぐいのち～高齢期における看取り～」村瀬孝生(特別養護老人ホームよりあいの森)
3. 『降りゆくケア』としての当事者研究～べてるの家の歩みと実践から～向谷地生良(北海道医療大学)
4. 「長寿社会における平穏な最期を支援する医療のあり方～厚労省及び学会ガイドラインが示すこと～」会田薫子(東京大学大学院)
5. 『生きること 死ぬこと』～小児科医の立場から～細谷亮太(細谷医院)
6. 「Whole Person Careによる臨床と教育のパラダイムシフト」恒藤 暁(京都大学附属病院)
7. 「認知症患者の終末期医療と介護」宮本礼子(桜台明日香病院)

## ◆ワークショップ◆

1. 「ケアの現場におけるアートの可能性」  
ブルース・ダーリング(アートと高齢社会研究室)/日野間尋子(画家)
2. 「ビギナーのための人生最終段階の患者とのコミュニケーション～対象者と援助者自身の『今ここ』に出会う～」  
田村里子(WITH 医療福祉実践研究所)
3. 「Safe Community of Inquiry と死の臨床」  
本間直樹(大阪大学)/高橋 綾(大阪大学)/田村恵子(京都大学大学院)/二見典子(いいケア研究所)  
新幡智子(慶應義塾大学)/市原香織(京都大学医学部付属病院)/柏谷優子(辻仲病院柏の葉)

## ◆セミナー◆

1. 「人生の最終段階に関わる意思決定支援～Advance care planning を超えて～」阿部泰之(旭川医科大学病院)
2. 「看護師と在宅介護者の燃え尽きとその予防」カール・ベッカー(京都大学大学院)
3. 「在宅ホスピスボランティア 成功例に学ぶ～地域づくり、医療・介護連携から生まれる～」石口房子(広島県地域保健医療連携機構)
4. 「日本における自然葬としての樹木葬の可能性と課題」上田裕文(札幌市立大学)
5. 「死の臨床の実存的苦悩と実存的希望～死の臨床におけるロゴセラピー(実存分析)を軸にしたガイドとして～」  
川野真司 (Professional Development Diplomate of Logotherapy in Canadian Institute of Logotherapy)
6. 「ターミナルセデーションの意義と問題点」池永昌之(淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院)
7. 「在宅での看取り～共にいることができる訪問看護師の力」平原優美(あすか山訪問看護ステーション)
8. 「ぬくもりとほほえみの中で～僧侶の関わった症例から～(仮)」長倉伯博(浄土真宗本願寺派善福寺)
9. 「スピリチュアリティを支えるリハビリテーション～理学療法士の立場から～」林 邦男(栄光病院)
10. 『『食』を通じたライフレビュー～失敗からのスタート～』相馬梨沙(洞爺温泉病院)

## ◆演奏とおはなし◆

『『あなたのこころの色は』のちの色していますか』～ホスピスでの実践からのメッセージ～池田千鶴子(ハーブ奏者)

## ◆音の輪◆

- I 「音の造形」大平まゆみ(札幌交響楽団)
- II 「ことばと音」中山ヒサ子(NPO 法人和・ハーモニー) 他
- III 「北の音」荏原小百合(北海道大学大学院)

## ◆音楽と音楽療法◆

1. 「終末期の音楽療法～最期のひと時を共に奏でる～」北川美歩(信愛病院)
2. 「音楽の中に共にあること～ALS 患者と共に～」中山ヒサ子(NPO 法人和・ハーモニー)

## ◆コンサート◆

「ランチコンサート」「エンディングコンサート」アンサンブルグループ 奏楽(そら)